

神戸学院大学 中期行動計画 実行計画(第4層) 2013年度達成度評価表 分野:大学運営

		評価	理由
中期計画	1 基本方針の策定と実行		
実行計画	(1) 中期行動計画の実行と検証を行う。	B	中期行動計画の進捗状況を検証するためのフォーマットを作成し、それを管理するシステム作成に着手したところである。
	(2) 意思決定のプロセスの明確化を図る。	C	ガバナンスの根本的な事項であり長年に亘って検討しているがまだ決していない。
	(3) 既存学部を整備と全学収容定員の再編を行い、新学部・新学科の設置を検討する。	B	各学部において、収容定員の変更について検討実施を行っている。
	(4) 有瀬キャンパス(KAC)とポートアイランドキャンパス(KPC)の効率的な利用を促進するため、学部移転を基本とした新学部・新学科を含めての学部再配置を行う。	B	スケジュール通り計画が進捗している。
	(5) KPCへの本部機能移転とD号館・体育館建築を検討する。	C	本部機能移転に伴う2015年度以降の事務組織を検討がなされていない。また、移転部署の検討もなされていない。D号館・体育館建築はスケジュール通りなされている。
	(6) 中長期計画実行のための財政計画を策定する。	B	健全なキャッシュ・フローに留意した資金繰表を作成し計画通り積立を実行した点、中長期計画の中で、帰属収支差額を視野に入れて予算編成方針を策定した点を評価する。
中期計画	2 内部質保証システムの構築と実施		
実行計画	(1) 大学認証評価も視野に入れつつ、大学独自の自己点検・評価を毎年行う。	B	本学独自の自己点検・評価を毎年行っている。
	(2) 上記を達成するため、作業部会を含めた自己点検評価制度委員会の体制を再検討する。	C	自己点検小委員会を定期開催(2か月に1回)するという目標が多く、具体的な審議内容等の記載が少ないと思われる。
中期計画	3 効率的な財政運営		
実行計画	(1) 収入源の多様化を図り、帰属収入における学生生徒納付金以外の増額を目指す。	B	寄付金収入の増額以外については概ね計画通りの実施している。
	(2) 予算編成のあり方を再検討し、支出およびその配分の効率化を図る。	C	本実行計画を構成する計画のうち先送りとなっている項目がある。
中期計画	4 情報の集約・共有の促進		
実行計画	(1) 教職員間、教員間、職員間の情報共有の実態を検証し、その改善に向けた新たなシステムの導入を検討する。	C	教職員間、教員間、職員間同士の共有がまだ不十分である。ただし、学生の課外活動等については、facebook等で情報共有できる環境となっていることについては評価できる。
中期計画	5 戦略的広報活動の推進		
実行計画	(1) 募集活動全般を見直し、体系的な学生募集体制を構築し、志願者増を図る。	B	本計画は、大学を支える根源となる施策の一つである。志願者数は、対前年度比9.1%増で、施策実行の効果が表れてきたと評価する。
	(2) 大学のブランド力向上のために大学広報を推進する。	B	種々の手段により大学広報を推進している。効果に関してはまだ不十分な点もあるが、引き続き取り組みに期待する。
	(3) 本学に対する構成員の関心を高め、理解を促すために学内広報を推進する。	B	本学の構成員に対する学内広報はまだ不十分な点もあるが、今後期待したい。
中期計画	6 効率的で機動的な組織への見直し		
実行計画	(1) 事務組織の現状を検証し、キャンパス間業務連携や役職の役割を見直す。	C	まだまだ不十分である。今後期待する。
	(2) 学部にも所属しない教員の任用制度の導入を検討する。	B	学部にも所属しない教員の任用がなされた。
中期計画	7 労働環境の整備		
実行計画	(1) よりよい就業環境の実現に取り組む。	C	一部の計画で進捗は認められるも、計画の実施を先送りしている点も見られる。
	(2) 「期待される教職員像」に基づいた人材育成制度の確立に向け、全般的な検討を行う。	B	研修関連の施策、人材育成・指導面談関連の施策は一応の成果をあげているが、全学教員活動データベースは未着手である。
中期計画	8 教育後援会・同窓会との連携強化		
実行計画	(1) 保護者等からの大学への要望をより吸い上げるシステムを検討し、教育後援会との連携を深める。	A	保護者等からの要望を聞き、実施する施策なので初年度の実績を鑑みAとした。
	(2) 課外活動、キャリア支援等において、在学生と卒業生の結びつきがより強化されるよう、同窓会との連携を深める。	B	キャリア支援においては着実な取組が行われているが、課外活動においては十分な取り組みはなされていない。

評価 S:目標よりはるかに上回る、A:目標をやや上回る、B:おおむね目標どおり、C:目標をやや下回る、D:目標をかなり下回る